

福井県内外国人住民数の概況

■平成 29 年 12 月末現在の本県の外国人住民数は 13,426 人、前年末比 1,238 人増（10.2% 増）であり、4 年連続増加となった。

国籍・地域別で見ると、世界 72 개국・地域の人々が在留しており、ブラジルが最も多く、次いで中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンとなっている。中国、韓国・朝鮮が減少し、ブラジル、ベトナムが大幅に増加した。集計結果の残る S 6 3 年以降、ブラジルが初めて最も多い国籍となった。

■平成 29 年 12 月末現在の本県の外国人住民数が本県の総人口 777,534 人（H30.1.1 現在推計人口）に占める割合は 1.73%で、昨年（1.56%）と比べて 0.17 ポイント上昇した。

1 総数

	外国人住民数	前年比較	
平成 29 年 12 月末現在	13,426 人	1,238 人	10.2%
平成 28 年 12 月末現在	12,188 人	223 人	1.9%

2 外国人住民の多い市町（平成 29 年 12 月末現在）

	外国人住民数	前年比較	
福井市	4,185 人	229 人	5.8%
越前市	3,810 人	666 人	21.2%
坂井市	1,385 人	79 人	6.0%

3 外国人住民に多い国籍・地域（平成 29 年 12 月末現在）

	外国人住民数	前年比較	
ブラジル	3,227 人	585 人	22.1%
中国	3,020 人	△110 人	△3.5%
韓国・朝鮮	2,445 人	△63 人	△2.5%
ベトナム	1,591 人	543 人	51.8%
フィリピン	1,445 人	76 人	5.6%

4 外国人住民に多い在留資格（平成 29 年 12 月末現在）

	外国人住民数	前年比較	
永住者	3,731 人	109 人	3.0%
技能実習	3,533 人	417 人	13.4%
特別永住者	1,991 人	△47 人	△2.3%